おゆみ野自転車共生会議起動中②

即・警察・電話「S・K・D作戦」発動！

この「SKD」作戦により、遊歩道から、放置自転車の早期撤去。持ち主照会の迅速化が実現し、「遊歩道の環境保全」「持ち主への早期返却」が可能となる見込みです。

「おゆみ野自転車共生会議」のスポークスマンによると、「『放置自転車発見通報』は、住人の力に頼る部分が大きく、今後、『SKD』作戦の、住人への周知徹底、恒常化が課題であり、『通報先の告知看板の設置』を目指す」とのことです。

また今後は、この「遊歩道放置自転車対策」も含め、以前より問題になっている「遊歩道での通行方法」にまで踏み込み、「歩行者と自転車との棲み分けルールの確立」など、活発な活動を展開する見込みです。

元来、遊歩道の管理主体は、千葉市の緑土木事務所であることから、放置自転車発見の通報は土木事務所に行い、土木事務所は、市の放置自転車防止条例に従い「撤去、持ち主照会」を行っていました。

ところが、放置自転車防止条例は、駅前の「通勤・通学による、放置自転車」を主な対象にしたもので、発見後に警告カードが貼られ、一週間は撤去できません。撤去しても二カ月間は雨ざらしで保管され、照会作業はそれからになるため、「迅速な対応」という点では不十分なものでした。

一方おゆみ野地区では、盗難自転車の件数が昨年度より増加し、遊歩道での放置自転車は、「盗難による発生」が疑われることから、「盗難による、放置自転車対策」の必要性が生まれています。

そもそも、「持ち主自らの放置」か「盗難による放置」なのかは、「持ち主にしか判断できません。「持ち主照会」は、従来の「防犯登録制度」に頼るところが大きく、その持ち主情報は、警察にしか照会が出来ないことから、おゆみ野自転車共生会議では、「持ち主への照会」を第一ととらえ、「遊歩道での、放置自転車発見の第一報は警察に発信する」という方向性を打ち出しました。

しみず　わたる

※ブログＵＲＬ　http://blogs.yahoo.co.jp/midori_net_2938011

昨夜、９時半ごろ、千葉市緑区おゆみ野の遊歩道「春の道」上で、放置自転車４台が相次いで発見されました。

この事態を、重く見た、「おゆみ野自転車共生会議」は、「ＳＫＤ」＝「即、警察に、電話」作戦を発動し、メンバーによる、「警察への、放置自転車発見通報」が行われました。その結果、本日、朝７時15分ごろには、４台全てが片付いており、南警察署による迅速な「撤去、持ち主照会」がなされた模様です。

おゆみ野地区、遊歩道では、相次ぐ、放置自転車の発生による環境の悪化、新たな放置自転車の誘発、経年劣化による自転車の粗大ごみ化に、住人達が頭を悩ませており、先般、有志を含む「おゆみ野自転車共生会議」による、「放置自転車、一斉撤去作戦」が敢行された直後であります。

どう守る？食の安全

「老舗」でもあてにならない！

「老舗」と言われるような生産工程や偽装表示が、次々と明らかになっています。同時に輸入食品の安全性が問われるような事態も発生し続け、「食の安全」が揺らいでいます。

例えば、生活クラブ生協では、自主監査を行なって食の安全を確保しています。

自主監査とは、生産者と生活クラブとが自主基準を設け、その基準に消費財（食材や製品など）が到達しているかどうか、生産や販売過程でその基準が守られているかどうかを、組合員自身が監査をする仕組みです。

自主基準には●食品添加物の不使用●国産原材料を八割以上使用●製造・生産過程における工場周囲の除草・排水溝整備・浄化槽管理などの環境整備●二重包装以下。ギフトは三重まで…、など細かい基準が百項目以上あります。

「こんなに厳しい基準では、中小の生産者はやっていけないのではないか。自主監査をすることによって、生産者にメリットはあるのか」という疑問も沸きます。

だからこそ、計画的に購入をし、また一定の量を保障できるように、購入する仲間を増やす運動によって生産者を守ってきたのです。

さらにこの厳しい基準を守ることによって、生産者も食の安全を確保し信用を保つことができます。

いつの間にか不法な行為が相次いでおり、それを内部では誰も止めることができなかった、というのが問題を起こす企業の実態です。

とすると、生活クラブが取り組んでいる、「組合員（消費者）による自主監査」というのは、なかなか良い仕組みだ、とあらためて感じています。さらに、生産者の顔が見える仕組み、地場の農産物を利用し、農業を守っていくことも大切な取り組みだとも思います。

福谷章子

県議会　はじめの一歩　・・・会議室・・・

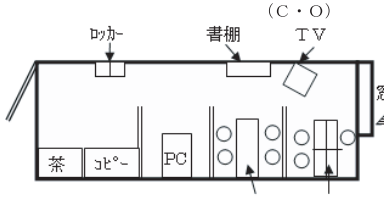
まったく政治に興味のなかった４人の子持ちの母が、ひょんなことから県議会議員の議会マネージャーに…。そこで見たもの聞いたもの……？？

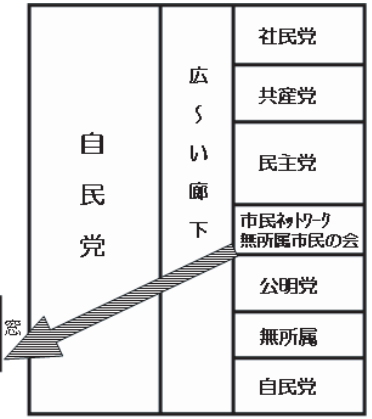
緊張しながら、初めて千葉県議会の行われる議会棟に入った。今日から私は、川本議員の議会マネージャー。エレベーターは少々古く、止まる度にガタッと揺れる。最上階に議場があるが、議員がいつもいるのは６階の会派室。会派ごとに部屋が分かれている。

市民ネットワークの部屋は、細長いうなぎの寝床のような部屋。奥に、議員の机が並んでいて、手前に応接セット、パソコンなどを置くテーブル。この狭い部屋に次から次へとお客さんがやってくる。後で知ったが、お客さんではなくて、県の職員だった。「ヒアリング」というらしい。議員が質問したいと言うと、すぐに飛んできてくれる。我が会派の議員は勉強熱心なので、昼食の時間も削られる程、次から次へと誰かが入ってくる。廊下に並んで順番待ちになっていることもしょっちゅう。ネットの議員は、問題のある現地を何度も視察し、ヒアリングを繰り返して、議会での質問を練り上げていくのだ。

広い廊下を挟んで、自民党の会派室。意見書を持っていくときに、中を覗いてみた。とにかく広い。95人の議員のうち57人を自民党が占めているのだから当然だが、それにしても広すぎる部屋。何だか自民党は特別優遇されているような気がする。思わず主人に言ってしまった。「お父さん、仕事が嫌になったら、辞めて議員になるといいよ。それも自民党の・・・」。

（Ｃ・Ｏ）





会派室略図

お知らせ

どなたでも参加できます。

■　講演会
「あなたは戦争を知っていますか？
～中国で”三光作戦”に参加した元兵士の証言」
日時…11月25日（日）午後1時半開場　2時～4時
会場…鎌取コミュニティセンター（緑区役所となり）
講師…坂倉清さん
参加費…無料
主催…とけ・九条の会
お問合せ…043-294-8607（川本）

■　県議・市議７人合同議会報告会
日時…11月14日（水）13:30～16:00
会場…きぼーる15Ｆ　多目的室

■　緑区議会報告会
日時…11月18日（日）14:00～16:00
会場…あすみが丘プラザ　講習室２

９月県議会・市議会の報告とともに、まちづくりについて話し合いましょう。

■　自転車共生会議
日時…11月18日（日）10:00～13:00
会場…鎌取コミュニティセンター　２Ｆ集会

駐輪場問題から放置自転車対策、交通安全教育まで、活動が広がっています。

■　市政＆まちづくり相談
日時…11月12日（月）10:00～15:00
会場…市民ネットワークみどり事務所

お問い合わせ…043-293-8011（市民ネットワークみどり）

思春期の心と身体を守るために

「14歳の母」というドラマが話題になりました。性の情報は待ったなしで子どもたちに降り注いでいます。

千葉市で平成九年から始まっている、中学生の「ふれあい体験学習」「思春期教室」は、命の教育を中心にした性教育を、助産師などから受けられる貴重な機会です。体験した子どもや保護者、教師からも好評なのですが、なかなか広がっていません。性教育バッシングの影響でしょうか。

産婦人科医家坂清子さんは、「性教育は寝た子を起こしているのではなく、社会環境によってすでに起こされ、うなされている子を正しく起こしなおす教育である」と説いています。

教育委員会は「性教育は教科などの中でおこない、これら事業の活用はあくまでも学校の判断に任せる」としておりますが、自分を大切にする気持ちを育て、性被害を未然に防ぐために、もっと積極的に学校で活用してほしい事業です。一方、中学校に配置されたスクールカウンセラーは、おおむね好評のようですが、週一日ではとても足りないので、相談日の増設を要望しています。

青少年行動計画策定中！

教育委員会では「青少年行動計画」を本年度中に策定しますが、思春期の心と身体の支援は、その中にしっかりと位置づけるべきものです。

十一月中には素案を公表し、パブリックコメントを実施します。皆さんも積極的にご意見を市までお寄せ下さい。

福谷章子